

第6学年 英会話科学習指導案

平成29年 11月 9日 (木)

1 単元名 Let's write Alphabet. (E-タイムW)

2 単元について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、英語への関心が高く、9割以上の児童が英語を好きだと感じている。中には、新たなゲームを提案する児童もいる。また、自分の思いや考えを英語で表現する時間を大切にさせるために、毎月のスキットから広げてプラスアルファの会話をする活動を設けてきた。

6年間英語に触れてきたため、音声で慣れ親しんできた単語や表現を読んだり話したりすることに自信をつけてきたようである。調査からも、70%以上の児童が英語を読むことができると回答し、読めるようになりたいかに関して全員が「はい」「どちらかといえばはい」と回答している。

そのため、単語だけでなく英語で書かれた文章を読み解いたり、文字カードを並び替えて文章を完成させたりする活動にも取り組んできた。

音声で慣れ親しんできた単語や語句は読んだり聞き取ったりできるため、今では書くことへの意欲がより高まっている。英語を書けるようになりたいかに関しては、全員が「はい」「どちらかといえばはい」と回答している。しかし、書くことはできないと回答している児童もおり、「正確に書ける自信がない。」「4線が難しい。」という理由もある。そのため、ここまで培ってきた、「聞く」「読む」と切り離すことなく、アルファベット文字や単語の認識をしたり、英語で文字を書く楽しさや自信をもたせたりしたい。

<図1省略>

(2) E-タイムWについての意図

本校において、文字を書く活動は本年度から焦点をおいて取り組んでいる。そのため、6年生では、1学期に大文字と小文字、2学期には音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や表現を書き写す、3学期には音声で十分に慣れ親しんだ基本的な語句や表現を短い簡単な文章に書く活動に取り組んでいく。1週間に1回のE-タイムWあるため、学期ごとという長いスパンで、段階を追っている。また、E-タイムWでは、今月のスキットの補充語句やプラスアルファで使用する語句も扱っていき、E-タイムやE-タイムLとの繋がりも大切にしていく。

全ての英語活動において、既習でありながら思い出せない言葉があった際に、黒板に掲示してあるカードの単語の頭文字とイラストを一致させて音声を思い出す児童が多くおり、文字認識と音声、読むことの3つを関連させながら会話をするとより、理解が深まるだろう。そこで、書き写す活動では、音声も分からないまま、文字を書くだけの活動にならないよう、音声と読み、文字の一致を意識した活動を重視してきた。2学期のE-タイムWでは、語句の音声のみを聞き、聞いた単語を文字で認識させた上で、書き写させている。聞かせる単語は「今日のFocus word」として、音は似ているがスペルが違う単語を毎週2語ずつ扱う。似ている音声でも、使われているアルファベットによって微妙に音が違うことや日本語と英語の音声の違い、単語の意味が違うことにも気づきをもたせたい。そのため、何を発音しているのか音声を推測することと、音声を聞いて使われている文字や語句の意味を推測する時間も大切にしている。

教師が示した語句を書き写すだけでは、児童の書きたいという意欲や書く力は身につかないため、「今日のFocus word」で出てきた2文字を取り上げ、「今日のFocus word」がhearとyearならhとyを取り上げる)2文字それぞれが含まれる単語を探す活動を行う。単語を選ぶ際は、6年間で慣れ親しんできた単語が多く盛り込まれている「We Can!」の単語表やE-タイム・E-タイムLで十分に慣れ親しんでい

る今月の補充語句の中から選び、書き写す活動を行う。また、相手意識を持たせた活動へ繋げるため、自分で選んで書き写した単語をペアで紹介し合う場を設ける。どの書き写す活動においても、4線を意識して書くことも併せて指導していく。

書くことも自分の思いを伝える手段やコミュニケーションを図る基礎的な力として養わせたい。

3 研究主題との関連

研究主題 『積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成』

～4技能（5領域）のバランスのとれた育成～

◎文字に触れる場面を多く設定すれば、児童が自然に読んだり、書いたりできる力が育つであろう。
【読む・書く】



E W : Focus word で扱った語句の頭文字が含まれる単語を単語表や今月の補充語句から探して書き写し、発音し合う。
HRT の発する単語を聞き取り、文字にする。

4 単元計画

(1) 「読む」「書く」の系統性

	アルファベット大文字	アルファベット小文字	単語	文
低学年	<ul style="list-style-type: none"> 授業で使うカードや掲示物で文字にふれる場面を多くもつ。 			
中学年	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの大文字を識別することができる アルファベットの大文字を読むことができる。「A」(エー) 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの小文字の形の違いを認識できる。 アルファベットの小文字を読むことができる。「a」(エー) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で使うカードや掲示物で文字にふれる場面を多く持つ。 自分の名前（ヘボン式）を書くことができる。 	
5年	<ul style="list-style-type: none"> 読むことができる。 書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの小文字を識別することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を読むことができる。 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を書き写すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を並び替えて文をつくることができる。 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な文を書き写すことができる。

6年		<ul style="list-style-type: none"> ・読むことができる。 ・書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を読むことができる。 ・単語を書き写すことができる。 ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を聞いて書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を並び替えて文をつくらることができる。 ・スキットの表現を書き写すことができる。 ・簡単な文（単語数：3～4）を聞いて書くことができる。
----	--	--	---	---

(2) 目標及び評価規準

観点	単元目標	単元の評価規準
読む	・アルファベットの小文字と大文字を識別し、簡単な単語を読むことができる。	・アルファベットの小文字と大文字を識別し、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を読むことができている。
書く	・アルファベットの小文字と大文字を識別し、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を書き写すことができる。	・アルファベットの小文字と大文字を識別し、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を書き写すことができている。

(3) 指導と評価の計画

	1 週	2 週	3 週	4 週 (本時)
週 の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの大文字と小文字を識別し、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を書き写すことができる。【書く】 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・既習のアルファベットの大文字と小文字を識別し、自分で選んだ簡単な単語を読むことができる。【読む】 			
E タ イ ム W	あいさつ ・ S o n g ・ めあての確認			
	○今日の Focus word ・「hat・cat」 ○Let's write ○Let's listen ・「hat・cat」 【読】(観察) 【書】(ワークシート)	○今日の Focus word ・「pig・big」 ○Let's write ○Let's listen ・「pig・big」 【読】(観察) 【書】(ワークシート)	○今日の Focus word ・「right・light」 ○Let's write ○Let's listen ・「right・light」 【読】(観察) 【書】(ワークシート)	○今日の Focus word ・「year・hear」 ○Let's write ○Let's listen ・「year・hear」 【読】(観察) 【書】(ワークシート)
	ふり返り・あいさつ			

5 本時の展開 (第4週)

(1) 本時の目標

- ・アルファベットの**大文字**と**小文字**を識別し、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を書き写すことができる。 【書く】
- ・アルファベットの**大文字**と**小文字**を識別し、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を読むことができる。 【読む】

(2) 展開

時間	学習活動	学習内容	指導上の留意点 (・指導 【評価】)
1'	1 あいさつをし、ABC ソングを歌う。	・あいさつ ・ABC ソング	・「L・M・N」の発音を再確認してからソングに入らせる。 ・発音を意識しながらペアで、アルファベットカードの文字を指しながら歌わせる。
1'	2 めあてを確認する。		
Focus word の文字を使った単語を探し、4線に書き写そう。			
2'	3 今日の Focus word を知る。 ・year と hear を聞く。 ・year と hear を発音する。 ・year と hear を4線上へ書き写す。	・year と hear の音声・意味の違い ・year と hear の音声・文字の違い ・year と hear の4線上への書き写し	・4線を意識して書くことを確認する。 ・1回目に year、2回目に hear を聞かせ、音声や何の単語かをよく考えさせるために、すぐに繰り返さず間を取る。 ・音声のみで聞かせた後に、文字カードを示して文字認識をさせる。 ・2枚同時に文字掲示し、音声と文字を児童の中で一致させる間を取る。 ・音声の似た単語でも、文字や意味の違いがあることに気づかせる。 ・正しく4線を使って書くことが出来ているか確認する。
2'	4 「y」と「h」の入る 単語を「We Can!」 の単語集や今月の 補充語句からそれぞれ1語以上探して書き写す。	・「y」と「h」の入る単語	・正確に書き写せていない児童にはパスポートのアルファベット表を頼りにして書かせる。 【書】アルファベットの 小文字 と 大文字 を識別し、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語を書き写すことができている。(ワークシート)
1'	5 探して書いた単語を ペアに見せながら 発音する。	・「y」と「h」の発音	・自分の書いた単語を発音することができていない児童がいた場合は、一緒に確認する。 【読】アルファベットの 小文字 と 大文字 を識別し、音声で十分に慣れ親しんだ

			簡単な単語を読むことができている。(観察)
1'	6 HRT の読む単語の year と hear を聞き取らせ、ワークシートに書き写す。	• year と hear の聞き分け	• 黒板に掲示してある year と hear のスペルは隠し、見ずに取り組みさせる。
1'	7 本時の学習を振り返る。	• 本時のねらいに沿った振り返り	• あいさつをして、終わりにする。